

伊予市シティブランド確立業務 第2回市民ワークショップ報告書

テーマ:「あなたの住むまちの問題点は？」

■開催日時:平成 26 年 8 月 7 日(木) 19 時～21 時

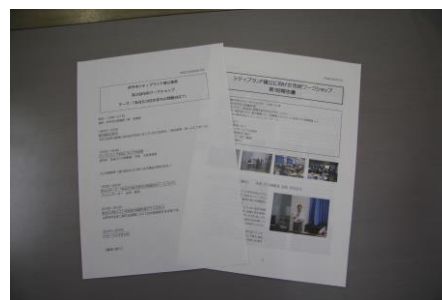
■開催場所:伊予市立図書館1階

■テーマ:あなたの住むまちの問題点は？

■参加者:一般市民25人、協力職員5人、主催者スタッフ7人(未来づくり戦略室4人、セキ株式会社3人)、ファシリテーター1人

■プログラム

1. 参加者自己紹介
2. ワークショップ全般についての説明
3. 本日のテーマ「あなたの住むまちの問題点は？」について
4. あなたの住んでいる地域の課題を挙げてください
5. グループとりまとめ
6. グループ発表
7. 本日の総括



■参加者自己紹介

参加者が1人1分の持ち時間で自己紹介を行いました。

■ワークショップ全般についての説明(要約)

ワークショップに入る前に、未来づくり戦略室・小笠原次長よりワークショップを進める上での注意点が説明されました。

なお、30人の参加者は着席時に6グループ(1グループ5人)に分けられました。

【ワークショップ全般についての説明】

- ①平等の立場で関わる
- ②意見をしっかり聞いて理解する
- ③反対するときは代案と理由を示す
- ④適切な時間配分を心掛ける
- ⑥ワークショップを楽しむ



■本日のテーマ「あなたの住むまちの問題点は？」について

全員の自己紹介を受けて、ファシリテーターの山内氏から本日のテーマ「あなたの住むまちの問題点は？」についての説明がありました。

山内氏／皆さん、自己紹介が上手ですね。(1分経過を知らせる)チンが鳴っても続ける人、1分以内にきちんとまとめる人など、それぞれの性格などが見えて来ました。年齢も性格も仕事も違ういろいろな人がいるので、面白い結果が出てくると思います。私はこれまでの経験から「最終的に5人、本気の人がいれば良い結果が出せる」と考えていますが、大半の人が本気のようにお見受けしましたので、半年後には面白い結果が出てくることを期待しています。

今日は皆さんに伊予市の「悪いところ」を書いてもらいま

す。その理由は「まちの良いイメージを伝えたいのに、自分たちが気付かないうちに、まちの悪いイメージが伝わっている」という例が多くあるからです。シティブランドの基本は「良いイメージを出す(発信する)前に、悪いイメージを出さない(発信しない)」というのが大事ですが、そのためには伝える側が悪いイメージを自覚する必要があります。また今回のワークショップの大きなテーマは「問題を解決するためのプランティング」ですので、まずは問題点をできるだけ多く出してください。

■グループ発表／4分×6グループ

「あなたの住むまちの問題点」を各自がふせん紙に書きながら、各グループで問題点を出し合いました。一通り意見が

出尽くした後、問題点(ふせん紙)を分類し、模造紙に貼り付けて整理し、最後に各グループの代表者が発表しました。

第1グループで出された問題点

●人口

- ・地域の行事に参加できる人が少ない
- ・地元で買い物をしてない
- ・職場がないので同級生も松山にたくさん住んでいる
- ・商店街が寂れている
- ・土地が高いため若い人が流出している
- ・独身男性が多い
- ・郡中に出ないと買い物できる場所がない
- ・県外の友人に住んでいるところの説明ができない
- ・お金を使うところがない。市外に出てしまう
- ・住んでいる地域の方のほとんどが高齢者
- ・独居老人が増えてきた
- ・子どもの数より老人の数が圧倒的に多い

●農業

- ・地域内での行事減少
- ・女性農業者減少
- ・山や畑が荒れ放題なところが増えた
- ・農業後継者がいない
- ・猪の被害が年々拡大している
- ・中山は猪が幅を利かせている
- ・後継者不足のため休講農地が多い

●ライフライン

- ・中山には文化的な臭いが少ない。図書館、映画館、美術館なし
- ・中山は陸の孤島
- ・立派な建物は多いがあまり活用されていない
- ・中山は日本の山村が抱えている問題点が揃っている
- ・若者の集まれる場所がない
- ・中山は今となっては住居がばらけ過ぎている
- ・中山高校跡地が一年経った今も、利用方法が見えてない
- ・ライフライン、特に水道が不備
- ・年のせいか仕事に対する覇気のなさ、自主性、未来志向のなさ

●その他

- ・地元に残っている若い人が独身でいる(嫁が来ない)
- ・子どもの数が減り、小学校(の存続)が危ない
- ・子どもの減少
- ・街の中に空き家がたくさんある
- ・小学生は年々減少、高齢者が多い



第2グループで出された問題点

●交通

- 道の導線が上手くできていない
- 道路が狭く危ない
- 交通手段が少ない(JR、バス)
- バスの路線、本数が少ない
- 車がないと不便

●施設環境

- 駅前が寂しい
- JR駅が小さい
- 谷上山を生かしていない
- 遊ぶところあまりない

●生活環境

- 街灯が少ない
- 水がない
- 下水道が完備されていない

●食生活

- 商店街が寂しい
- 買い物する店がない
- 商店が無く買い物が不便

●人口

- 少子高齢化
- 高齢化
- 後継者がいない
- 子どもが減っている
- 人が外に出ていない
- 人口減少が激しい

●その他

- 伊予市より郡中の方が有名
- 市外に仕事で出る人が増えた
- 雇用を生む施設がない
- 近所付き合いが希薄になった
- 物資が多すぎてまとまりがない
- イベントがない
- ただの通過点になっている



第3グループで出された問題点

●人間関係

- 犬のフンを始末しない人がいる
- 同じ人ばかり役員になる
- 組ごとに閉鎖的なところがある

●支援(行政)

- 湯水時の個々への援助が欲しい
- 空き家が活用しにくい(活用支援が欲しい)

●雇用

- 雇用がない(働くところが少ない)

●交通・インフラ

- 交通の便が悪い(道路が狭い)
- ガソリンスタンドが遠い
- スーパーや店舗ができて、狭い道路の交通量が増え危険になった
- 買い物弱者(買い物には車が必要)
- 高速道路の音がうるさい(夜間)
- 公共交通の不便さ
- スーパーがない。買い物に行くのに時間がかかる

●観光

- 観光施設など目玉になるものがない

●インフラ

- インフラ設備が良くない
- 光回線が来ていない
- 水道早く来て欲しい

●子ども

- 小学校がない(子どもや若い人が少ない)
- 子どもが安全に歩ける道が少ない
- 文化面で子どもの利用を考えた施設が良くない(ホール・図書館など)
- 子どもが遊べる場所(広場・公園)がない(少ない)

●その他・自然環境

- 風が強い(ゴミがとぶ)
- 山間部のため土地が狭い、急斜
- 宅地の造成や住宅建築で騒がしくなった
- 陽当たりが悪い
- 田畑がなくなり、緑が少なくなった
- 獣害



第4グループで出された問題点

●人口・生活環境

- ・子どもの減少(少ない) ・若妻さんがいない
- ・農業従事者の高齢化 ・地域を維持できない
- ・学校が廃校の危機 ・空き家が多い(危険)
- ・祭りに参加する人が減っている(特に若者)
- ・近所付き合いの減少 ・少子高齢化

●産業

- ・農産物の産直が多過ぎる
- ・夜に食べる場所があまりない
- ・商店街に魚屋がない(海があるのに直に買えない)
- ・商店がない ・漁獲量の減少 ・廃園が多い
- ・職場が少ない(ない)

●その他

- ・デマンドタクシーが町内しか行かない
- ・犬のフンの始末をしない人が増えている
- ・田、畑へのゴミのポイ捨て
- ・まとまり(町内)がない
- ・きれいな海を見るところがどこかわからない
- ・五色浜がもったいない



第5グループで出された問題点

●高齢化

- ・若夫婦が米湊、下吾川に出て、灘町の親元に戻らない
- ・若い人が少ない
- ・若い人が働ける場(会社など)があまりない、少ない
- ・若い人が県外に行くため、高齢化が進んでいる
- ・人口が減り続けている

●商店街

- ・商店街を歩いている人が少ない
- ・商店街に空き店舗があり、目立つ。(駐車場が多い)
- ・買い物するところが少ない(特に衣服)
- ・商店街構成員の高齢化
- ・中心市街地および商店街の空洞化。人も店も少ない
- ・街の通りを歩いている人が少ない(少なくなった)
- ・(自由に活用できる)「空き店舗」が少ない。トイレ、出入口の独立性
- ・日曜日に閉まっている店が多い
- ・商店街および中心市街地住民が、自らの地域が公共空間であることの認識不足

●交通

- ・電車(JR)の便が少ないので通学が大変
- ・車が無いと不便かもしれない
- ・電車以外の方が便利

●施設

- ・公園が少ない(小学生の子どもが遊べる場所が少ない) ・遊ぶところがない

●その他

- ・伊予市を説明するのが難しい ・伊予市と言えば「○○」というPRポイントが思い付かない
- ・自信を持って我が街を語れない ・双海・中山・伊予と分離している気がする
- ・松前町は活気がありとても元気でうらやましい ・松山に負けている ・コミュニティーの場が不足している
- ・伊予市に活力がない気がする ・高齢者の歩行範囲(行動範囲)が段々狭くなっている
- ・オープンマインドでない点 ・市民の連携不足 ・チャレンジ精神の喪失(保守化・保守的)



第6グループで出された問題点

●人

- ・働く場所が少ない
- ・まちに若い人の出番がない

●街づくり

- ・歩く人にやさしくない
- ・人が来ない。エミフルなどに集まっている
- ・街灯が少ない(夜暗い)
- ・港があるのに船の交通手段がない
- ・おしゃれな飲食店が少ない
- ・空き店舗、空き家の問題
- ・伊予市の商店街が寂しい
- ・歴史のある建物の保存

●生活環境

- ・伊予市郊外にあまり家が建たない
- ・ゴミのびんの収集日が少ない
- ・ゴミ袋代がかかる
- ・1才児の途中入園に空きなし

●知名度

- ・素材はあるが手土産が少ない(パッケージされたもの)
- ・中山、双海に行くことがない、名所を知らない
- ・「伊予市と言えば」というイメージが湧かない
- ・伊予市をイメージさせるものが少ない



■本日の総括(要約)

山内氏/皆さんの意見をお聞きし、山間部の獣害や商店街の活性化など、ほかの多くのまちと重複している問題点が多いと思いました。「伊予市より郡中の方が有名」という意見が出ましたが、これは問題点というより、郡中を伊予市の中の1つのコアとして言葉を確立し、メジャーにしていく方法もあると思います。ただし、市外の人が郡中を知っているかどうかも含め、「内から見る伊予市」と「外から見る伊予市」は多少違う気がします。

一番大きな問題として「合併意識の有無」を考えることが必要でしょう。旧伊予市の方は合併意識がなく、名前が変わった旧中山・旧双海の方は合併意識がある。ただ意識はあっても、どのように意識しているのかが問題だと思います。

また今回のシティブランド確立業務に大きく関わってくる問題点として「伊予市の説明ができない」という意見がありました。伊予市の説明ができるようなイメージ作りが、とても重要になってくると思います。それと伊予・双海・中山の意識が分離しているというのも、大きな問題だと思います。分離しているという意識をどうして行くかを学ぶことが大事だと思います。

まとめると最大の問題は「伊予市をイメージするものが

ない、伊予市を説明できない」ということで、これは「伊予市の存在がない」ということになるので、これからの作業は「伊予市の存在を作って行くためのブランディング」になると思います。

今日はいろんな問題が出ました。これからブランディングをし、伊予市を説明できる1つのシンボルが生まれますが、そのシンボルをどのように活用して行くのかを考えなければいけません。例えばゴミ問題では、ゴミ袋のデザインを工夫することで、分別問題が解決できるかもしれません。シンボルマークができれば、あらためて今回の問題点を思い返し、問題点の解決方法を探って行きたいと思います。



■感想カード(一部要約)

○問題点を考えるうちに伊予市について考える時間を持つことができました。課題についてはそれぞれ個々が考えている、感じていることの多くが共通しており、「私だけが感じている問題ではない」と感じました。市民の方に親しみを持ってもらえるものを作っていきたいです。

○今回の話の中で出てくる意識の差(双海VS伊予VS中山)を大きく感じました。私の第4グループは、グループになりにくい雰囲気でした。外からそっと第4グループの話を聞いてみて、そっと介入していただけるとよりスムーズになると思います。毎回新しい発見があったことを、ほかの方に話すのが楽しみです。

○「皆さんも同じことを課題として考えている」ということが共有できたのは良かった。こういう皆さんがもっとまちづくりに参画して欲しい。

○伊予市を説明できない。伊予市をイメージするものがない。本当は何かあるのだろうけど…。自分たちが地域を魅力的に感じていないのが原因ではないでしょうか？

○本日のテーマである「問題点」については、予想していたものが出ていました。今後、どのようにブランディングに生かされていくのか、私自身、全く分からない状態です。正直少し不安です。

○いつも“良いところ”ばかり考えて暮らしているので、“悪いところ”を考えるのは難しかったが、必要な視点であり、きちんと把握しておかなければならないと思った。ほかのワークショップと比べると和やかな雰囲気で良かった。若い人&女性も多いし、おやつも嬉しいが、ブランド確立のワークショップなので、地産地消のために伊予市の特産品のお菓子にしてはどうか。町家で売っている社会福祉法人のクッキーを希望。お茶はびわ葉茶に。

○グループで話す(意見を出す)ことで、いろいろな意見が出た。またグループごとに全く違った意見が出て良かった。しかし「問題点」は全国各地に共通なことが多いので、伊予市独自の解決方法を探すのは大変だと思った。その解決方法を見付けることが、今回のデザイン決定に繋がると思う。

○様々な分野、年代の人々が集まり、地域の問題点を出し合ったが、参加者のほとんどが同じ問題点を感じている。人口、交通、雇用、インフラ、合併問題など、誰もが持つ悪いイメージを踏まえ、今後どのようにブランドイメージを構築していくのか楽しみだ。自信を持って伊予市をPRできるようなシティブランドを作っていきたいと思う。

○シティブランドを確立するためには、アピールポイントを強調していくだけでなく、市の些細な問題点から作っていくのだと知った。松山に住んでいるが、伊予市の方も同じようなことに悩んでいるのだと感じた

○中山や双海の問題が今日のグループ発表でよく分かりました。伊予市だけでなく、いろいろとあるなと思いました。問題山積みで先が見えません。

○素材を生かした物づくりやシンボルマークを、多くの地域でまとめて行くことができれば良いと思いました。

○最初の自己紹介は緊張しましたが、皆さんの自己紹介で一気に距離が近付き良かったです。問題点探しは皆さん同じ意見を持っていて共感するとともに、どこか寂しい気がしました。この問題点を踏まえて、少しでも良い方向に進んで行ければと思います。

○多くの問題点が出された中で、山内先生は①合併意識②伊予市の説明ができないの2点に整理されたほか、産業などの問題点にも触れられました。問題点の多くは、ほかの地域と共通の事柄が多いようなので、解決の方法もかなりデザインされるのではないのでしょうか。

○今回の「各地域の問題点」として上げられた内容を聞くと、様々なジャンルの問題点があった。旧3市町の様々な在り方をしっかりと聞けて、次回の話し合いの足掛かりになったと思う。伊予市をしっかりと説明できるように、また地域の問題点・課題を発見し、みんなで話し合いたいと思う。

○自己紹介で緊張したが、その後グループで話しやすくなった。意見を出すことがなかなかできなかった。

○今日は各グループに分かれ、いろんな問題を出し合い表にして発表した。分かりやすいくいろんな問題があると思った。本当に勉強になった。

○グループ分けで、メンバーが偏っているグループがあったようです。伊予・中山・双海の人たちが万遍なく(同数は無理でしょうが)配されるようにしてもらえないのでしょうか。

○「意見出すバラバラなれど それなりに 地域の課題うかびつつあり」。課題から出発するというのは意外な気がするが、“うしろ姿”から見える景色もあるかと思う。

○6グループに分かれて話し合いをしましたが、どのグループも同じような意見ばかりだったということは、「参加者全員が伊予市に対する問題点を共有できている」と思いました。

○「地域の課題」は、どのグループも同じような内容だったので、皆さんの抱えている問題は一緒なのだと感じました。今後、この課題を生かして良いイメージでブランディングできればと思います。

○問題点を考えると、たくさん出てくるのだと感じました。また、皆さん同じようなことを思っているんだと感じました。

○いろいろな人の意見を聞くことができ、思ってもいなかったような問題点を知ることができた。次週の「良いところ」を聞くのが楽しみになった。

○「歴史文化の会」を中心に“伊予市八景”の選定をし、八景の実行委員会の一人としてPRのため、イベントなどで頑張ったつもりですが長続きせず、双海、中山との合併で「い〜よぐるっと88」という本を作成したものの、これも…。今度こそ、ロゴマーク(シンボルマーク)などを上手く活用し、伊予市の知名度アップにつなげたい！

○ワークショップは意外と楽しかったです。伊予市をイメージできるシンボルを、これから楽しく作って行きたいと思いました。

○各グループも各地域も様々な問題点や課題が多いと思いますが、悪い点を今後逆手に取って、少しでも課題点を改善できれば良いのでは。

○少し面白くなりそうな予感がしています。

○問題点を挙げてみると大体同じ意見が多く、マイナス点に関しては、皆、見ている方向は同じであることを知ることができた。ここからどのように展開していくのか、次回以降楽しみです。

○いざ“問題点”というと、なかなか思い浮かばなかったが、人の発表を聞いてみると、なるほどと思う問題点がたくさんあった。人口、高齢化、交通、農業の問題点が多い。「伊予市の説明ができない」のは伊予市をイメージできるものがないからだと思う。

○伊予市の問題点を全員で書き出して意思確認を行った。今まで見えなかった部分も理解できた。次回は伊予市の良い点も検討されると思うので、考えて準備して、ワークショップにのぞみたいと思います。

○少子高齢化、交通問題などの問題が多い。伊予市全体としての未来図を考えなければならない。地産地消は大歓迎だが、言葉遊びにならないようにと思う。伊予市のワンポイントピーアールを考える。